



SALVATIONIST とぎのこえ

2021年標語「主によって練られ、備えよう」(マラキ書3章3節)

二〇二一年一月十五日発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行

広報版・奇数月十五日発行(除く七月)



新春号

広報版

2021

January-February

No.2812



ある女性のグループが聖書を学ぶ会をもち、皆でこのマラキ書の聖句は、神のどんな性質や本質について教えているのかを考えたそうです。

「ああ、それは簡単だよ。自分の姿が映った時だ。」
このお話の一番大事なところは、銀細工職人が最後に言った言葉です。銀細工職人の姿が映し出されるまでは、銀は完全に精錬されたとはいえないのです。

日本軍国が焦点を当てるべきことは何でしょうか。御子イエス・キリストのようになるために、わたしたちを練りあげ、聖なるものとしてくださる神。それが答えです。神はわたしたちの心と霊を精錬し、今以上にイエス・キリストの姿をわたしたちに映し出してください。

「彼は精錬する者、銀を清める者として座し、レビの子らを清め、金や銀のように彼らの汚れを除く。彼らが主に献げ物を正しくささげる者となるためである。」

「彼は精錬する者、銀を清める者として座し」という聖句を思い返しました。彼女は、職人に、最初から最後まで炎の前に座していなければならぬのか、と尋ねると、職人は、そうだと答えました。銀を中心に置き続けるだけでなく、銀が炎の中にある間じゅう銀から目を離してはいけません。銀が炎の中にあるべき時間が一秒でも過ぎるなら、銀が台無しになってしまうのだ、と言うのです。彼女は、しばし沈黙し、それからこう尋ねました。

「神のなされることは皆その時にかたまって美しい。神はまた人の心に永遠を思う思いを授けられた。それでもなお、人は神のなされるわざを初めから終わりまで見きわめることはできない。」(伝道3・11 口語訳)

「今、この時における神の目的は何でしょうか？ わたしたちの人生において、救世軍において、神はどのように働いておられるのでしょうか？」

「彼は精錬する者、銀を清める者として座し」という聖句を思い返しました。彼女は、職人に、最初から最後まで炎の前に座していなければならぬのか、と尋ねると、職人は、そうだと答えました。銀を中心に置き続けるだけでなく、銀が炎の中にある間じゅう銀から目を離してはいけません。銀が炎の中にあるべき時間が一秒でも過ぎるなら、銀が台無しになってしまうのだ、と言うのです。彼女は、しばし沈黙し、それからこう尋ねました。

「神のなされることは皆その時にかたまって美しい。神はまた人の心に永遠を思う思いを授けられた。それでもなお、人は神のなされるわざを初めから終わりまで見きわめることはできない。」(伝道3・11 口語訳)

最近、ある方々と二〇二〇年について話す機会があったのですが、「様に『前代未聞の年』だと評していました。確かに、たくさんの催し物や集まり、式などがキャンセル、あるいは大きな変更を強いられました。しかし、そのような中においても、わたしたちの神は、どんな季節にもわたしたちと共におられる方である、とわたしは信じています。妻のシエリル大佐とわたしは、このように問い続けています。」

「彼は精錬する者、銀を清める者として座し」という聖句を思い返しました。彼女は、職人に、最初から最後まで炎の前に座していなければならぬのか、と尋ねると、職人は、そうだと答えました。銀を中心に置き続けるだけでなく、銀が炎の中にある間じゅう銀から目を離してはいけません。銀が炎の中にあるべき時間が一秒でも過ぎるなら、銀が台無しになってしまうのだ、と言うのです。彼女は、しばし沈黙し、それからこう尋ねました。

「神のなされることは皆その時にかたまって美しい。神はまた人の心に永遠を思う思いを授けられた。それでもなお、人は神のなされるわざを初めから終わりまで見きわめることはできない。」(伝道3・11 口語訳)

敬愛する皆さんへ

メンバーの一人は、銀を精錬する過程を調べ、次回、わたしたちを報告します、と提案しました。その週、彼女はある銀細工職人に電話をかけ、仕事を見せてもらう約束をしました。彼女は、銀の精錬過程を知りたい、ということ以外、見学の理由を一切口にしませんでした。

二〇二二年軍国標語 主によって練られ、備えよう

司令官 大佐 ケネス・メイナー



「精錬する者の火」(マラキ3・2)は、森を焼き尽くす山火事のような火でも、野生の猛獣のような唸り声をあげるようなものでもありません。また、焼却炉の炎のようにすべてを破壊するような火でもありません。「精錬する者の火」は、練り、造りあげる火です。火は、全く純粋なものにします。銀や金の塊を溶かし、その本来の価値を下げる不純物を取り除くため焼き尽くし、銀や金だけを汚れのない、完全な状態で残すのです。

今年の軍国標語は、「主によって練られ、備えよう」です。今、すべての人が、神の目的のために自分の人生を純粋なものとしていたくよう神に求め、備えておくよう、呼びかけられています。神の愛が、わたしたちの美しさと純潔の中に表れるようにするためです。神のような聖と愛に与りたいと願うなら、「精錬する者の火」を避けることはできません。精錬されること、すなわち汚れを取り除いてもらうことは、大切な工程の一部だからです。

2021年 救世軍標語
「主によって練られ、備えよう」
聖書箇所：マラキ書3章3節
彼は精錬する者、銀を清める者として座し
レビの子らを清め
金や銀のように彼らの汚れを除く。
彼らが主に献げ物を
正しくささげる者となるためである。



2020年11月3日(火)、江東小隊小隊長フィリップ・マカチェン大尉、江東小隊付セジャー・マカチェン大尉、二人の娘さんケイトリンさん(7歳)、アリスンさん(4歳)が、米国西部軍国から無事来日しました。すでに江東小隊での働きを開始しています。御家族と江東小隊の働きを覚えてお祈りいたします。

QRコード、Facebook (@SArmyJP)、Twitter (SArmy_JP)、YouTube (救世軍 The Salvation Army) のアイコンとリンク。

オンライン 初野戦
1月2日(土) 午後2時配信
司令官ケネス・メイナー大佐のメッセージ他、賛美ゲスト有
表紙の写真：泉尾小隊新会館の会堂内部 (2020年10月17日献堂 関連記事7ページに掲載)

もくじ

- メッセージ 主によって練られ、備えよう 司令官大佐 ケネス・メイナー 3、4
- (連載) 聖潔の流れに立つ 第14回 山室軍平の聖潔 中将 朝野 洋 5
- 万国本営より祈りの要請
- 集会報告 召天者合同記念会 軍国音楽祭 6、7
- 各地のニュース!! 泉尾小隊、天満小隊、〈証言〉救世軍兵士入隊にあたって 吉田慎也、高知小隊、京橋小隊、八幡小隊、東京東海道連隊、佐野小隊、月島小隊、社会鍋による支援 岡山・福山小隊、士官学校 7、8、9、10、11
- 『救世軍教理ハンドブック』発刊によせて 少佐 田中禎一 12
- 〈連載・第8回〉 神の呼びかけ～神の民となるために～ (3) 神の言葉への呼びかけ (4) 恵の座への呼びかけ 13
- 救世軍見解表明 社会道徳に対する救世軍の立場 第3回「性差別」(3) 第4回「祖先崇拜」(1) 14
- 救世軍公報
- 災害対策室レポート 15
- キャンペーンのアルバム 16

「神は、その独り子をお与えになつたほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」(ヨハネ3・16)

この、惜しみなく与えられている、すばらしい愛と計り知れない恵みは、今も生きています。それゆえ、神の光の中を歩む時に、わたしたちは信仰と永遠の命の約束を証しすることができるのです。

聖書に、「イエスは、『わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう』と言われた」(マルコ1・17)とありますが、キリストは、最初の弟子たちを召されたように、わたしたちをも招いておられます。救世軍人であるわたしたちは、皆、弟子として訓練されることを期待されています。そうすれば、神に従って行く中でわたしたちの人生と心は開かれ、復活のキリストの教えによって変えられていくからです。

イエスもまた、その生涯の中で「火」を経験されました。わたしたちがイエスのようになりたいのであれば、わたしたちの心は精錬されなくてはなりません。その過程は時に痛みを伴います。「精錬する者の火」について教えているこの聖句を読むなら、神が物事を動かされること、そして、それがどんなに辛くても、わたしたちは神を信頼することができるのだ、ということを確認できます。なぜなら、精錬してくださる方は、決して目を離すことがないからです。神は、片時も目を離さず、わたしたちの心が壊れてしまわないように常に守ってくださいています。わたしたちが火の中にいる時にも、その過程を無事に終えることができるように、わたしたちを励ましてくださっているのです。そして最後に火が鎮まると、願っていたように、少なくともほんの少しでも、よりイエスの御姿に近づくことができたと、喜びに満たされるのです。

新しい年を迎えました。神は、どのようにあなたの心を精錬してくださっているでしょうか。あなたの人生において、あなたが悩み、苦しむ場所において、神は何を用いることによって、イエスの心を映し出すことができるあなた

に変えてくださったのでしょうか。

一人ひとりの救世軍人が自分自身に、「イエスの心を映し出すことができるようになるために、わたしの人生において、神様は何を用いてくださっているのだろうか」と問いかけてほしいと、心から祈ります。

希望の祈り

父なる神様、どうか、火の中を通るわたしたちと共にいてください。わたしたちの心を見守り続けてくださっていること、そして、あなたの御子イエス様の姿をはっきりと濃く映し出すことができるように、わたしたちを変えようとしてくださっていることを教えてくださり、ありがとうございます。厳しい熱を通り抜けるまでわたしたちを力づけてください。もうこれ以上耐えることができないと思う時にも、わたしたちを慰めてください。アーメン

聖句によつて考える

「わたしの兄弟たち、いろいろな試練に出会うときは、この上ない喜びと思いなさい。信仰が試されることで忍耐が生じると、あなたがたは知っています。」(ヤコブ1・2、3)

「それゆえ、あなたがたは、心から喜んでいるのです。今しばらくの間、いろいろな試練に悩まねばならないかもしれませんが、あなたがたの信仰は、その試練によって本物と証明され、火で精錬されながらも朽ちるほかない金よりはるかに尊くて、イエス・キリストが現れるときには、称賛と光栄と誉れをもたらすのです。」(ペトロ1・1・6、7)



勇敢な信仰を实践する

もしあなたが今、精錬する火の熱さを感じているのであれば、主に共にいてくださるよう力強く祈りましょう。あなたがイエスのようになるために、あなたの心が柔らかく砕かれるために。癒しと、愛と、共に経験する試練によって他の人々を祝福するために、神は、あなたの心や思い、行動の何を精錬しようとしておられるでしょうか。それらすべてを思いつく限り、書き出してみましょう。神は、主の火があなたを練り造りあげる過程を通して、誰かの魂を得ようと、あなたを用いておられるのかもしれない。パウロはこのように言いました。

「こういうわけで、兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにして自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようにならなさい。」(ローマ12・1、2)

神だけが、わたしたちを変えることがおできになります。わたしたちがしなくてはならないことは、古い自分を脱ぎ捨てて、新しい自分を身に着けることを決断することです。そうするならば、神の教えに従っていくことができるのです。心からの敬意と深い感謝を込めて。神の豊かな祝福をお祈り致します。



連載 聖潔の流れに立つ 第十四回

山室軍平の聖潔

中将 朝野 洋



六、山室の宗教を受け継いだ人々―山室による聖潔の流れ―

○日曜学校から召天まで一筋に救世軍…：港一敏連隊特務曹長(教育者の生涯)

一九一四(大正三)年、小豆島に生まれた。小学校低学年時に住んでいた大阪市西区の家の近所にあった救世軍九條(当時表記)小隊が、毎週土曜日に太鼓を先頭に救世軍歌を歌いつつしていた案内によって、土曜日の青年部救霊会に行くようになった。関東大震災後、東京から秋山彰特務曹長が大阪に転居。小隊近くの松島遊郭に赴いては、「東京では大地震にあつて丸焼けになつて丸裸で震えているのに遊郭で遊んでいるバカヤローは出てこい」というような調子で野戦や行軍を始めた。秋山特務曹長は、いわゆる「飲む・打つ・買う」の三道楽から救われた人であった。その強烈な印象などを経て、港青年は回心。十二歳で少年兵となった。当時の小隊で唯一の少年兵として、野戦に行軍に証言に、と活躍。十三歳で小隊候補生となつてからは、野戦の説教や『ときのこえ』売り、募金にも従事した。一九二九(昭和四)年、山室軍平中将指揮の聖別会が天王寺公園の公会堂でおこなわれた。山室中将は、ガラテヤ書二章一九、二〇節より「私はキリストと共に十字架につけられた。生きてゐるのはもはや私ではない。キリストが私の中に生きておられるのである。」

「神がなせと宣うままを為し、神が為れと宣うままに為るのが聖潔である」と献身を強調された。港青年も聖潔を求めて祈り、やがて、聖潔を経験した。

同年、兵士入隊し、翌年師範学校に進学。進化論や無神論に触れ、一時神の存在を疑うが、「心の清き者は神を見る」という聖句に導かれるまま一カ月祈り続けたところ、天来の光を受けて「信仰!」との言葉が心に響いた。「そうだ、信仰によつて神を見るのだ」と悟り、以後は疑うことはなかったという。

困難な戦時期を経て一九四六(昭和二十一年)より、教師を務めるかたわら、大阪市淀川区塚本にある自宅でも子ども会を始めた。毎週土曜日には、子どもの集会、大人の集会、家庭団と開催され、六畳と四畳半の部屋に大人が四十人、クリスマスには、最大百二十人が集まった。一九五〇年に天満小隊会館が開館したことから、塚本での集まりは分隊となった。

一九六一年、釜ヶ崎(あいりん地区)事件をきっかけに、あいりん地区の不就学児が問題となった。そこで、非行に走っている者も少なくない戸籍や住民登録のない子どものための特別な学校をつくることとなり、大阪市教育長は、「まことの教育」のため、と宗教的信念をもった教師を十人選び、彼もその一人となった。彼は、市内でも未知の地域での教育に神の導きを祈り、「わたしを強くして下さるかたによつて、何事でもすることが出来る」(ピリピ4・13口語訳)と示され、翌年、全国初の「あいりん学園」(小・中学校)の校長として赴任した。四十七歳であった。新聞の取材には、「第二の賀川豊彦になったつもりで体当たりしたい」と語っている。学園では、教育だけでなく親代わりの働きも求められ、十年間校長を務めた。教師として最後に母校大阪市立九条東小学校の校長を務め引退した。救世軍では、一九六三年に関西連隊(当時)の連隊特務曹長に任じられ、超教派ではギデオ協会の朝拝会で活躍した。一九九九年八十四歳で召天。召天後には、生前の業績をたたえて「勲五等瑞宝章」が授与された。(山室軍平の聖潔は今回で終わります。次回より、吉田真中将による「ブレングルの生涯と聖潔」を掲載いたします。)

■万国本堂より祈りの要請(二〇二〇年十一月)

非常に悲痛なお知らせですが、二〇二〇年十一月二十七日(金)、インドネシア軍国スラウエシ島にあるレウォノ・レンバントンゴア分隊が襲撃を受け、四人の命が奪われたことが確認されました。

レウォノ・レンバントンゴア地区は、中央スラウエシ地域にあるシギ島の僻地農村部で、インドネシアの熱帯雨林の端に位置しています。十一月二十七日朝、地域全体が襲撃に遭い、救世軍の建物とそのメンバーの家六件が全焼しました。悲しいことに、分隊に属する四人のメンバーが殺されました。東部パル連隊長のエリック・カペ少佐と士官たちは、直ちに現地の指導者たちを支援するため、村の保護の強化と事件の捜査に携わっているシギ県及び中央スラウエシ州の警察や政府当局と連携を取りました。

また、救世軍はインドネシア全土に向けて声明を発表し、すべての教会と宗教団体、そして地域の人々に対し、地域の村々がよく連携して安全を確保し、お互いに支援するようと呼びかけています。インドネシア軍国の司令官ユサク・タンパイ大佐は、この地域の救世軍人に対して、「落ち着きを保ちつつも警戒心と注意深さをもって、希望という力強いメッセージを広め、お互いを励ますために祈りをもつて一致するように」と勧めています。

十一月二十九日(日)には、インドネシア全土で、救世軍人は三分間の黙祷の時をもち、深い悲しみの中に家族や会衆のために祈り、この地域に神の平和が注がれることを祈りました。公の礼拝に集まることのできる場所もあれば、新型コロナウイルス感染症対策による制約のため、それぞれの家で祈りの時をもつ地域もありました。

ブライアン・ペドル大將は、このコミュニティの癒しのために、すべての救世軍人が祈りに参加するよう要請しています。(後略)

NEWS!! NEWS!!

各地のニュース!!



泉尾小隊

●新会館献堂

2020年10月17日(土)、テープカット及び献堂式がおこなわれました。新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、出席者を小隊及び建築関係者に限定しました。午後1時30分に、テープカットと西日本連隊長鈴木智博大尉による開館宣言がなされました。

午後2時より、献堂式が西日本連隊長の司会、書記長官西村保大佐補の司式により執りおこなわれました。新会館は、旧会館へのオマージュ(敬意)にモダニズムの様式を取り入れた会館となりました(内部写真は表紙に掲載)。書記長官は、設計・監理の株式会社アーバントーク 早川律男様、施工業者 合資会社 タカヤス建築工房 代表取締役社長 高安一夫様に救世軍からの感謝状を授与しました。書記長官は、「ここに愛があります(ヨハネー 4・7~12)と題して説教し、新会館は神の愛の場である、と語りました。(出席者30人)

式後、新会館の献堂に合わせて泉尾小隊会館前に設置された「希望館跡地」の石碑除幕式がおこなわれ、寄贈者である救世軍希望館の前田徳晴顧問、前田清子氏が除幕しました。この石碑は1918年~1957年(大阪・茨木市へ移転前)希望館が同地にあったことを記念して設



(写真上左より)
・テープカットをする、左より泉尾小隊南セブ子嬰兒軍曹、軍国女性部書記西村和江少佐、西日本連隊長鈴木智博大尉
・泉尾小隊新会館全景
・献堂式に集った人々
・石碑除幕式

置されました。

翌18日(日)には、献堂記念聖別会が守られました。出席者14人、新来者2人が与えられ、恵の座で8人が祈りを献げました。

コロナ禍のため、規模を縮小した献堂式と献堂記念聖別会でしたが、恵みの中に2日間を終えました。多くの方々のお祈りと献げものを心から感謝いたします。



集会報告

召天者合同記念会 軍国音楽祭

2020年10月10日(土)午後2時 オンライン配信

11月21日(土)、22日(日) オンライン配信



●召天者合同記念会

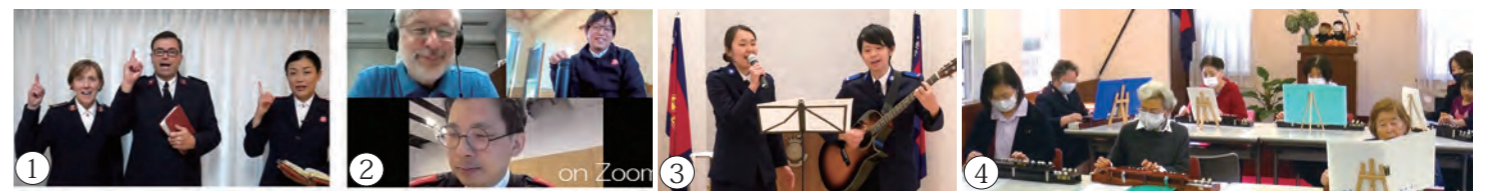
当日予定されていた青山霊園立山墓地での小集会は、台風の影響で中止しましたが、午後2時より、事前撮影の配信によって合同記念会がおこなわれました。

撮影は、10月3日(土)に少人数で執りおこなわれ、伝道事業部長山谷真少佐の司会によって進められました。司令官ケネス・メイナー大佐の挨拶の後、献花、召天者名簿の朗読を通して故人を偲ぶ時をもち、書記長官西村保大佐補は「希望はわたしたちを欺くことはありません(ローマ5:1~8)と題して、メッセージを語りました。最後に遺族代表として、2019年末に召天された朝野洋中将の御遺族 朝野誠氏が、挨拶をしました。撮影日には、救世軍人墓所、社会福祉部墓所にも花を飾り、先に召された方々と御家族を覚えて祈りを献げました。

(動画視聴回数 114回 <12月8日現在>)



(写真上左より)
・撮影風景
・司令官による挨拶
・軍国女性部会長シェリル・メイナー大佐による献花
・書記長官によるメッセージ
・朝野誠氏による挨拶
・献金者に贈呈された、「召天者合同記念会 2020」動画DVDの画面



(写真6ページ) ①司令官ケネス・メイナー大佐、軍国女性部会長シェリル・メイナー大佐夫妻と中島美和大尉②ゲストとの対談③候補生夫妻④川口小隊家庭団⑤講師の吉田中将⑥ゲストのバグマイヤー楽長
(写真7ページ) ①ジャパン・スタッフ・バンド②ジャパン・スタッフ・ソングスターズ③佐野小隊家庭団④希望館バンド⑤仙台小隊の Tsuru 永尾&たけのこバンド⑥仙台小隊⑦大阪セントラルホールバンド⑧帯広小隊「ママゴスペル」⑨神戸小隊⑩高崎小隊

●軍国音楽祭 (現在も一部内容を救世軍公式 YouTube で配信中)

インターネット配信 (YouTube 及び Zoom) で開催されました。1日目午前、米国から、オンライン上でシカゴ・スタッフ・バンドのハロルド・バグマイヤー楽長をゲストに迎え、吉田有中将(呉小隊長)によるインタビュー形式で話を聞きました。ウィズ・コロナ時代の音楽活動の新しい方向性や、詩編 27 編から日本の人々への励ましをいただきました。午後は、仙台小隊による賛美「ありがとう音頭」、士官候補生の歌「どんな時でも」、帯広小隊「ママゴスペル」の賛美「Lord please purify me」「たいせつな人」の録画が配信され、吉田真中将による講演「救世軍の音楽~その目的と実際」が続きました。また、夜には申し込み制にてジャパン・スタッフ・バンドの心霊会が開催されました。(1日目視聴数 1673回 <11月26日現在>)

2日目は、午後2時から音楽祭グランドフィナーレとして9つの音楽グループの演奏録画が次々に配信されました。ジャパン・スタッフ・ソングスターズ合唱「主なる神にさかえあれ」、神戸小隊合奏「Knowing You」、川口小隊家庭団の大正琴演奏「いつくしみ深き」、「しずけき河のきしべを」、希望館バンド演奏「主のみ救いかぎりなし」、「上を向いて歩こう」、仙台小隊の Tsuru 永尾&たけのこバンド演奏「あなたに届けたい」、佐野小隊家庭団タンバリン操練「主われを愛す」、大阪セントラルホールバンド演奏「Day of Salvation」、高崎小隊合奏「主われを愛す」、ジャパン・スタッフ・バンドの演奏 ユーフォニアムソロ「A Joy Untold」。

全国をオンラインでつないでおこなわれた音楽祭。神様を賛美し、福音を伝える救世軍音楽を多くの方に届ける機会でした。(2日目視聴数 785回 <11月26日現在>)

京橋小隊

●耐震補強改修工事完了の記念集会

2020年10月16日(金)、改修工事をしてきた会館の引き渡しを兼ねた業者向けの完成感謝礼拝をもちました。10時30分より引き渡し手続きを終え、11時より完成感謝礼拝。財産部長心得 倉持徹氏司会により進められ、小隊からは、小隊長平本宣広少佐、小林誠曹長、志村佳夫書記、伊藤義路会計、阿部市郎名誉書記と平本保子少佐が出席しました。席上、(株) 央建築事務所 代表取締役 大場明夫様、建築技術支援協会 理事 建築部会長 岡本直様、工藤建設株式会社 代表取締役 工藤英司様に本営より感謝状を贈りました。

工藤建設・工藤英司様の祝辞に続いて、司式者の書記長官西村保大佐補は、「起きよ 光を放て」と題して説教しました。記念撮影の後、銘版を玄関脇に設置し、阿部名誉書記が挨拶しました。その後、出席者は会館を内覧し、散会しました。(出席者18人)

10月18日(日)、小隊関係者向けの完成感謝聖別会をもち、東京東海道連隊長石川和男少佐が出陣しました。明るくなった会館に、晴れやかな顔が再び集まりました。小隊長の司会で進められ、席上、阿部名誉書記は今までの工事経緯や、証言を織り交ぜて挨拶をし、連隊長は、ネヘミヤ記より「立ち上がって再建する」と題して説教しました。(出席者23人)

午後には、会館を他小隊にも開放したところ、何組かの他小隊の関係者が見学に来られました。(小隊報)

●平本宣広少佐、保子少佐引退式

11月22日(日)、聖別会に吉田真中将及びかほる中將夫妻をお迎えし、席上、小隊長平本宣広少佐及び平本保子少佐夫妻の引退式がおこなわれました。(写真下左)

この日は、平本少佐夫妻の3人のお子さんとその御家族も集って、平本少佐夫妻と平本ファミリーによる特別バンドが編成されました。特別バンドは、「ステラいためるこころを癒す主よ」を演奏しました。



(写真上左より)・司式をする書記長官・工事関係者の人々・完成感謝礼拝に集った人々

引退式は、41年前に士官学校で平本少佐夫妻の教官であった吉田真中将の司式によっておこなわれました。平本少佐のお孫さんから、また、京橋小隊を代表して今年98歳になられた明石綾子名誉家庭団書記から花束が贈られました。また出身小隊の上野小隊からは花籠が届けられました。京橋小隊に在籍する平本少佐の兄 平本直大佐補夫妻、平本宣広少佐が月島小隊長時代に献身した、人事・教育部長の添田美和少佐も駆けつけました。

平本宣広少佐、保子少佐は、すべての歩みが神の御計画の中にあつた、と恵みを証しし、『救世軍歌集』165番「救うけしわがこころに」を二重唱。続いて会衆も加わって賛美しました。吉田真中将は「恵みと平安とがあるように」とメッセージを語り、平本少佐夫妻と会衆の祝福を祈って会を閉じました。

フィジカル・ディスタンスに配慮して1階と2階ホールに分かれての集会となりましたが、小隊長夫妻の引退のお祝いと継続奉仕への感謝の思いに満ちた恵みあふれる聖別会となりました。(小林誠曹長報)



NEWS!! NEWS!!

各地のニュース!!

天満小隊

●新兵士誕生!

2020年10月25日(日)、聖別会の席上、西日本連隊長 鈴木智博大尉司式により、吉田慎也さんの兵士入隊式がおこなわれました。吉田さんは、受洗後、主の導きにより天満小隊に導かれ、兵士入隊の運びとなりました。

入隊式後、吉田兵士は、主に造りかえられた恵み、神



(写真上左より)・前列左より、天満小隊長鈴木真理子大尉、吉田兵士、連隊長・聖書の学びを導いた眞鍋安雄少佐と

〈証言〉

救世軍兵士入隊にあたって

吉田 慎也

ハレルヤ! 兵士入隊式の直後に証言の時を与えていただき感謝申し上げます。

さて、私の証言は刑務所生活の体験を抜きにしては語れない部分があります。今回は、刑務所で見た「神様はどんな人にも働きかけてくださる」ということを証しさせていただきます。

私は刑務所で神様と出会い、救われました。入所後3年ぐらいは不平不満の多い生活でしたが、救われてからは徐々に変わっていき、毎日が楽しく喜びに満ちた生活へと変化しました。そして、この喜び、感謝を身近な人たちに伝えたいと思うようになりました。私は夜間独居という一人部屋だったので、同じ工場の同囚に伝えることにしました。しかし、刑務所では会話のできる時間が限られており、同部屋の人には話せても、工場ではなかなか話せません。そこで私は作業中に刑務官の目を盗んで話すことにしました。これは刑務所では不正交談という犯罪行為(遵守事項違反)で、見つければ摘発され、不利益を受けます。以前、同囚と共通の趣味の話をしていて摘発され、懲罰20日を受けました。懲罰中の入浴は週に1度だけです。朝から晩まで畳3畳の部屋で座って壁を見ているだけです。退屈で退屈でたまりません。そんなリスクを冒してでも神様を伝えたくて、ある日から作業中に刑務官に隠れてコソコソと話し始めました。

それから数カ月経った頃に、刑務官の横で作業をしている同囚から「ちょっと気をつけてくださいよ! オヤジ(刑務官)にバレてますよ」と言われたので「えええ!? なんで?」と言うと、刑務官は「オイっあそこ見てみ。アイツらいつもコソコソ話しとんのか。バレてへん思っとんか? 全部バレとるのにな。でもアイツがあそこで話してるのはキリストの話やからなあ〜、まっええっか」と言ってくれていたらしいのです。私は、そこに「神様の働きかけ」を感じ驚きました。なぜ刑務官が話の内容を知っていたのか、という、受刑者の手紙

様の不思議な御業を賛美する証言を力強くしました(下に全文掲載)。

天満小隊に集った会衆一同、新しい兵士の誕生を喜び、神様の祝福あふれる時となりました。

の内容等はすべて刑務官がチェックしていますので、同囚たちが外部の人に出す手紙に「近くにクリスチャンの人がいてキリストの事を教えてもらっているから聖書が欲しい」とか「キリスト教書が欲しい」と書いていたらいいのです。刑務官にしてみたら「アイツら部屋も違うのに、いつそんな話とんねん!」となります。そして、「はっはあ〜ん、なるほどなあ、作業中のコソコソしてるのはそれかあ」って具合のようでした。「神様の働きかけ」は本当にすごいです。神様の御助けにより刑務所で10人に神様を伝えることができました。その中から2人が洗礼を受け、1人が準備期間とのことです。他の人たちも「何かいいことをしたい。神様を同囚に伝えたい」と言っています。このことからわかりますように、神様の救いの御手は社会から隔絶され高い塀で囲われた中にも惜しみなく伸ばされています。そして常に救いを求める人を探しておられます。「神は天から人の子らを見渡し、探される 目覚めた人、神を求める人はいないか、と」(詩編53・3)こんなすばらしい神様を賛美できる第二の人生を感謝し、たくさんの人に伝えていきたいと思ひます。どうぞこれからもよろしくお願い致します。

高知小隊

●野外礼拝

11月3日(祝・火)、三密を避けられる礼拝のアイデアとして、「野外でのびのび礼拝を!」との戦友の希望から有志で集い、吾川郡仁淀川町ツボイ地区(標高約750メートルの山間部)へ出かけました。自然豊かな仁淀川の河川敷に座し、神様の造られたすべての被造物への感謝と証言を分かち合い、天然ディスタンス? をとりつつ、声高らかに賛美。今冬、互いの霊肉が守られるように祈り合っ、散会しました。ハレルヤ!



月島小隊

●荒井好光少佐、ちゑみ少佐引退式

2020年11月29日(日)、アドベント第1週の聖別会席上、小隊長鈴木雅子少佐の司式によって、荒井好光少佐及び荒井ちゑみ少佐夫妻の引退式がおこなわれました(写真下)。

夫妻の2人のお子さん(和人さん、希穂さん)も出席され、小隊の戦友や関係者と共に夫妻の長年の奉仕に感謝し、今日までの歩みを導き支えてくださった主の聖名をあがめる時となりました。(会衆22人)



(写真上より)・聖別会に集った人々
・小隊長(左)と、荒井少佐夫妻及び御家族

社会鍋による支援

岡山・福山小隊

●就労支援のためにー岡山小隊

2020年10月28日(水)、就労移行支援事業を運営するNPO法人ステップハウスわ!様に、就労支援事業のための材料となる毛糸を支援しました。



もしながら、販売をおこないました。
(写真上左より)・就労支援のための毛糸を贈呈
・新米「にこまる」の生産者と

●コロナ禍にある生産者支援ー岡山・福山小隊

コロナ禍にあり、様々な方が困っているとの声を上げています。その中で、地元の米農家が、新米を収穫したが販売先が大幅に減少したために在庫を抱え困っている、また、贈答品販売店がお祝いや法事がおこなわれないために贈答品等の在庫を抱え困っている、という声をSNSで見つけました。今回、在庫を抱えている生産者や販売者を支援するとともに、安価で販売することで、経済的に困難を覚えている方への生活支援となる、サイクル支援をおこないました。在庫を救世軍で買い取り、近隣の方に通常販売価格の8割引き相当価格で販売しました。

11月23日(月・祝)に岡山小隊で、28日(土)に福山小隊で、社会鍋募金のアピール



岡山小隊



福山小隊



手作りマスク、救世軍エコバッグ、「はあもに」を添えて



販売した、「にこまる」5kg、贈答品(即席味噌、鯉節など)

NEWS!! NEWS!!

各地のニュース!!

八幡小隊

●召天者合同記念会

2020年11月8日(日)、召天者合同記念会として、午前は、小隊会館で記念聖別会を、午後は、本城霊園にある八幡小隊納骨堂前で墓前礼拝をおこないました。

毎年8月におこなってきましたが、戦友・関係者の高齢化を鑑み、暑い時期を避けた11月におこなうことが年間計画で決まっていた。8月の予定であったら、コロナ禍での開催は難しかっただろうことを思って、変更していたことに改めて感謝しました。

記念聖別会は、例年より時間短縮のため、召天者の名簿朗読の際に、高壇後ろのスクリーンに思い出の写真を次々と映し、信仰の先達や家族の在りし日の姿を見、名前を聞きながら召天者を偲びました。集会後、久しぶりに来られた家族と短い時間でしたが、挨拶を交わし、互いの近況を確かめる時をもちました。この集会は、同時にYouTubeでライブ配信され、自宅で映像を通して参加された戦友・関係者もありました。また、午後の墓前礼拝にも、午前に引き続き、遠方から久しぶりに参加した方々が参列し、今年9月に召天された竹本カズ兵士の



(写真左より)
・記念聖別会に集った人々
・納骨堂の前で、墓前礼拝

納骨もしました。
この日、予定どおり無事に、恵みの一日を過ごすことができ感謝でした。(会衆聖別会19人、墓前礼拝9人)

●折尾愛真学園の伝道集会に参加

11月5日(木)、小隊長樋口和光少佐と愛子少佐は、地元北九州市のミッションスクールである折尾愛真学園で一年に1度おこなわれる伝道集会に参加しました。

市内のキリスト教会協力牧師と共に招かれ、全体集会に出席した後、高校3年生の各クラスに分かれ、約1時間、自分の信仰の証言や聖書の話をし、また生徒からの質問に答える時をもちました。コロナ禍のため、通常の学校行事はほとんど中止になっている中、この伝道集会は、感染拡大防止の対策を取りながらも決行に踏み切った、との教頭先生の説明がありました。若い魂に3年間、あるいは6年間、聖書の御言葉やメッセージにできるだけ触れる機会を備え、キリストの福音の種まきをし、いつか、それが実を結ぶことを願ってなされている学校の姿勢に賛同しつつ、奉仕の機会に感謝しました。

東京東海道連隊

●静清小隊 伝道事業部長キャンペーン

11月8日(日)、伝道事業部長山谷真少佐を迎えての聖別会は、マスク着用の上、賛美も2節までに制限して始まりました。席上、鈴木タツヨ副会計は、仏式の葬儀に参列する中で、旧約聖書の御言葉から力を受けた経験を証言しました。伝道事業部長は、会衆と共に、エフェソの信徒への手紙1章3~14節を少しずつ読みながら、「ウィズコロナ時代の信仰」と題して説教しました。

家族の送迎で、久しぶりに出席された方、自分の小隊のZoomによる聖別会を終えて駆けつけてくださった方もあり、集会後は、和やかなお茶のひとときとなりました。(会衆17人)

●名古屋小隊 伝道事業部長キャンペーン

11月15日(日)、伝道事業部長を迎え、互いに距離を取って、聖別会をおこないました。フィリピの信徒への手紙1章3~29節から「ウィズコロナ時代の信仰」と題して、伝道事業部長が説教しました。午後の日曜学校では、礼拝の後、ボードゲームをして盛り上がりしました。(会衆 聖別会14人 日曜学校7人)

●東京東海道連隊 東海地区士官会

11月16日(月)の士官会では、各士官の証言の後、伝道事業部長が、マタイによる福音書24章3~14節

から「世の終わりに備える」と題して説教しました。午後は、「異端から小隊を守るため~実践と対処法」をテーマに伝道事業部長による研修会を開催。大変有意義な学びとなりました。(出席者8人)

キャンペーンを通じて、コロナ禍にあって物事を見極めていかなければならないこと、また、「主はその御自身の業を完成される方である」という信仰者としての大切な心構えが説かれ、恵みの中を歩む希望が与えられました。(キャンペーンの写真は16ページに掲載)

佐野小隊

●社会鍋俳句コンテスト授賞式

11月11日(水)、第4回救世軍社会鍋俳句コンテストで「ほのぼの賞」を授賞された堀越静江さんに、関東東北連隊長藤井健次大佐補が証書と記念品を授与しました。

今年の本営での授賞式がおこなわれませんでした。佐野小隊の家庭団の中で授与式をおこない、堀越静江さんの受賞を、参加者一同でお祝いしました。



〈連載・第8回〉 神の呼びかけ ～神の民となるために～

(3) 神の言葉への呼びかけ

(承前) その言葉に、命を与える力があることは事実でありながらも、人類の必要を満たすためには、言葉だけでは十分でないことをイエスは知っておられました。そこで、最終的に、おこないをもって語られたのです。十字架での犠牲の死を通して、至高のメッセージを語られました。言葉は愛でした。無条件の、完全な、心からの、自身を与える愛です。そしてこの「言葉」である方は自らの命をもって語られたのです。

忠実な説教者が語る神の言葉は、聖霊を通して内に宿ってくださる「神の言葉」である方に代わって語るものです。高壇に立つ説教者は、入口で挨拶している時と同じ人間、次の日に街を歩いている時と同じ人間でなければなりません。すべての説教者は、動機づけ、清めてくださる「神の言葉」である方が、自分の内に生きておられることを示す必要があります。「神の言葉」である方を信じ、宣べ伝える人々の生き様に、その存在が明らかでなければならぬのです。

質 問

- わたしたちが共に過ごす中で、常に神の言葉を中心に置き続けるために、小隊としてどういうことができるでしょうか。
- わたしたちの信仰について尋ねられた時、それに答える備えがどれほどできているのでしょうか？
- 神様は今日、靈感された言葉を通して、どのような業をしてくださっていますか？
- 聖書を正しく解釈し、自分の弟子訓練に反映させるために、どのような実践的なステップを取ることができるでしょうか。

参考になる聖書箇所

詩編 119・105～112、ヨハネ 1・1～10、テモテ 2・4・1～5、ペトロ 3・15

(4) 恵の座への呼びかけ

わたしたちは、世界中の救世軍人に呼びかけます。神が救世軍に与えられた恵の座には、幅広い意義があることを認識するようにと。キリストがその臨在を確かめさせてくださるために、恵みの手段として与えられているこの機会を喜び祝い、その霊的恩恵が十分に活用されるよう、すべての小隊や施設は努める必要があります。

集会における恵の座は、神が、御自身と出会うように、人々を絶えず招いておられることを象徴する場所であると、わたしたちは認めます。そこは、悔い改めと救いの場であるだけでなく、神との交わりと献身の場でもあり

ます。この場所でわたしたちは、神の豊かな恵みを深く知る経験をし、限らない主の救いを宣言することができます。恵の座は、誰でも、いつでも、用いることができます。特に救世軍の集会においては、宣べ伝えられた御言葉に対する応答として、慈しみと謙虚さにあふれた主との交わりにあずかるよう、すべての人が恵の座に招かれています。

以前に救世軍士官をしていて、現在は他教派の牧師となった人が、救世軍について何か懐かしいことはありませんか、という質問を受けました。即答した彼の言葉には、心からの思いがこもっていました。「失って一番残念に思っているのは、説教の後に人々を恵の座に招くという機会です。」彼は、かつて、説教の後に公の場で応答するように、と会衆を率直に促してきました。恵の座への招きは、現在いる教会の習わしにはなかったのです。

聖書的観点による「恵の座」とは、イスラエルの民が旅をした時に、彼らと共に移動した、契約の箱を覆う、純金の板でした(出エジプト 25章 ※新共同訳では「贖いの座」)。それは、民の間に神の臨在があることを象徴するものでした(同8節)。それは、契約の箱の上部にあり、契約の箱の中には十戒が納められていました。主は言われました。「わたしはそこであなたに会い、ケルビムにはさまれた『恵みの座』からあなたと語る」(同22節 リビングバイブル※新共同訳では「贖いの座」)。契約の箱の上にある「恵みの座」(贖いの座)は、神とその民の出会う場所として示されたのです。救世軍における「恵の座」も、人々が神と出会い、語らう場所です。

教会の歴史的背景において、現代の恵の座を遡ると、19世紀初頭に、米国におけるリバイバル集会で用いられた「嘆きのベンチ」にたどりつきます。このベンチがウィリアム・P・チャンドラーの集会の中で、どのように用いられたのか、このような記述が残されています。

「求道者が会衆全体に散在している状態では、必要な配慮をすることが非常に難しかった。けれども、求めのある人が進み出る場所があることで、導きや励ましを提供することが可能となり、良い効果を生んだのです。」

1849年に、チャールズ・フィニーが英国を巡回する頃には、「嘆きのベンチ」は「心を痛めている人の席」と呼ばれるようになりました。初期の『ときのかえ』(1879年)では、「悔い改めの座」という言葉が用いられています。「大将は再びリビングストーン・ホールにて集会を指揮し、すばらしい時となった。集会の後、祈祷会がおこなわれた。約20人ほどが悔い改めの座に進み出た。」(続く)

兵士献身サンデー 2月7日

2月・スチュワードシップ月間
「管理者に要求されるのは忠実であることです。」
(コリントの信徒への手紙一 4章2節)

NEWS!! NEWS!! 各地のニュース!!

士官学校

●仙台小隊キャンペーン

2020年11月14日(土)～15日(日)、「まことの光」(ヨハネ1:9)のテーマの下、『恵みを伝える者』の学年の眞鍋嗣道候補生、恵候補生を中心にキャンペーンをおこないました。

1日目午前、近隣約1,000軒にチラシをポストイングし、午後には、一番町交差点での社会鍋デモンストレーションをおこないました。その後、旭ヶ丘森林公園でゲリラ野戦。道行く人に賛美を届けつつ、翌日の「オンライン賛美ライブ」の案内をしました。

2日目は、仙台小隊シャロームチャペルを会場に集会がおこなわれました。賛美タイムに続いて、「賛美聖別会」を候補生夫妻が導き、眞鍋嗣道候補生が「すべてを照らすまことの光」(ヨハネ1:9～13)と題してメッセージを語りました。(賛美聖別会 会衆20人、オンライン視聴188回<12月2日現在> 写真16ページに掲載)

午後は、コロナ禍のため、「オンライン賛美ライブ」として、仙台小隊に連なる青年たちとバンドを組み、共に力強く主を賛美しつつ、福音を伝えました。候補生夫妻が賛美を導き、眞鍋恵候補生はイエス・キリストの救いと罪の赦しを語りました。(会衆19人 オンライン視聴532回<12月2日現在>)

『救世軍教理ハンドブック』 発刊によせて

少佐 田中禎一

待ちに待った『救世軍教理ハンドブック』が、携わった方々のお骨折りにより発刊されることを感謝します。私は、その仮の訳を用いて士官学校で2年候補生の教理の授業を、進めていました。聖書の、キリスト教史の、そして救世軍の学びと実践のために大変教えられております。忙しい中であっても、時間を割いてじっくりと学ぶ価値と効果があると確信しております。

■『救世軍教理ハンドブック』～2つの柱と各章の構成

①2つの柱

救いと聖潔の軍隊にふさわしく、この2つのポイントが重要な柱として展開されており、終始一貫しております。「救い」は、「神との関係(神との契約関係)」の回復として記されています。また、「聖潔」は、「神の似姿」の回復として記されています。特に聖潔は個人の聖潔から、社会的聖潔へと広がるものであることが強調されています。さらに、教会論や sacrament の関わりで、救世軍の目指すことは、日常生活で神の恵みを証しする、聖礼典的(sacramental)生活であることが強調されて



(写真上左より)・メッセージを語る眞鍋嗣道候補生・オンライン賛美ライブの後に・賛美聖別会の様子・小隊長夫妻(右から2人)と士官学校一行

仙台小隊長栗飯原順中尉及び由美子中尉夫妻をはじめ、戦友の支えと励ましをいただき、聖霊の臨在を豊かに感じるキャンペーンとなりました。

います。

②各章の構成

条文ごとに章が建てられ、その箇条の説明を記している「本文」と、さらに深く学ぶための「継続な学びのために」からなっています。「継続的な学びのために」は、章によっては多少の違いがありますが、基本的には次のようになっています。

- この教理の神髄—本文の重要な論点がまとめられています。本文の理解を確認する上で役に立ちます。
- 歴史的背景—教理の根拠となる旧約聖書、新約聖書の記述や言葉の説明、その後の歴史的経緯や論争などのキリスト教史が語られて、現在の救世軍教理成立の由来がまとめられています。キリスト教史の学びになるとともに、他の教団との相違も明らかにされています。
- 救世軍人にとっての課題—救世軍人の信仰生活や、小隊及び事業所等がその活動をする上での、実際の指針や留意点が記されています。話し合いのテーマが提示されており、グループのみならず、個人の学びにおいても考える糸口となり、信仰を行動へ移す上で助けとなるでしょう。

軍国指導者の交代を覚えてお祈りをお願いします

大將 ブライアン・ペドル

モリス大佐補夫妻は同日付
けて大佐に昇任

二〇二一年四月一日付

補 日本軍国 軍国女性部会長
(采国南部軍国 士官教育部長)
ウエンディ・モリス大佐補

補 日本軍国 司令官 (采国南
部軍国 人事部長)
ステイブン・モリス大佐補

補 士官のための万国士官学
校 副校長 (日本軍国 軍国女性
部会長)
シェリル・メイナード大佐

補 士官のための万国士官学
校 校長 (日本軍国 司令官)
ケネス・メイナード大佐

司令官 ケネス・メイナード

補 江東小隊長
フイリップ・マカチェン大尉

補 江東小隊長
セジャール・マカチェン大尉

二〇二〇年十一月一日付
マカチェン大尉夫妻昇任によって、
江東小隊の東京東海道連隊長管轄
は解かれる

救世軍公報

救世軍見解表明

社会道德に対する救世軍の立場
第3回「性差別」(3)

(承前)
実際の応答
救世軍は、男女平等に取り組んでいます。



1895年、ウィリアム・ブースは指導者を集めて、『軍令及び軍律 参謀士官の巻』において、「女性は、あらゆる知的及び社会的な関係において、男性と平等に取り扱われなければならない」とするよう指示しました。たとえこの指示が常におこなわれていなかったとしても、救世軍は今日まで『軍令及び軍律 士官の巻』においてこの取り組みを維持しています。

平等の原則 救世軍の政治における重要な原則は、イエス・キリストの福音を世界に宣べ伝えるということにおいて、男性も女性も平等に携わるという権利である。救世軍人は、男性も女性も、既婚者も単身者も、下士官から大將に至るまで、救世軍の階級、責任、権威ある立場に就くことができる。

加えて、救世軍は分けへだてなく他の人々に仕えるという全世界的な伝統を具現化し、子ども及び成人の女性の代弁者としてこの原則を擁護します。

組織としての応答

• 救世軍は、いかなる形でも生じている性差別に挑戦し、さらに克服することを目指し、救世軍の生活のすべてにおいて、平等主義に立つ価値を促進していきます。

個人としての応答

• 救世軍人は、個人的な行動においても性差別に反対する立場をとることが期待されています。それは、イエスの模範に従順に従い、男性及び女性にあらわされている神のかたちへ敬意を表すということによって動機づけられているものです。

社会における応答

• 救世軍は、政府・自治体、事業体、市民社会や、他の宗教的共同体に影響を与え、男性及び女性の対等な待遇を促進させることを目指します。これには、公正な労働条件、給与、教育の機会及び、子ども及び成人の女性の安全に対する取り組みを含みます。

• 救世軍は、すべての人々一特に社会の指導者一を励まし、性差別の悪影響を認識させ、この不正を是正するよう働きかけることに努めます。

(注 23 : William Booth, quoted in Munn, J. (2015), Theory and Practice of Gender Equality in The Salvation Army. Gracednotes Ministries, USA. pp 31-32, 『女性の宣教』(カサリン・ブース著<救世軍出版供給部> 英文の初版は1870年) Female Ministry: or, Woman's Right

to Preach the Gospel. Morgan and Chase, London, 24 : 『軍令及び軍律 士官の巻』 第二巻第一篇第4章1節7項を参照) (2019年5月大將によって承認)

第4回「祖先崇拜」(1)

祖先崇拜についての見解表明

祖先との関係についての文化的理解は幅広いものです。救世軍は、神だけが崇拜されるべきである、ということ宣言します。救世軍は、父、子、聖霊なる神一守り、祝福し、慰めることができる神を信じます。イエス・キリストは、わたしたちと神との仲保者です。クリスチャンは、神に全く信頼することができます。したがって、死者をなだめるために、また祖先を崇拜するために、または先祖の仲介者となってもらったり、守ってもらうなどの助けを求めることを否定し、何者にも、どのような種類の供物や犠牲をも捧げることが、救世軍は容認できないことを宣言します。

この見解表明は、祖先崇拜に解決策を求める人々の慣習に焦点を当てています。わたしたちは、死者へ抱く悲しみが、ごく自然なプロセスであることを認識しています。しかし、それが、祖先崇拜となることを受け入れることはできません。救世軍人は、当然のことながら、わたしたちの先達の人生に対する感謝と名誉を、神に対し示します。

見解表明の背景と状況

祖先崇拜は世界中の多くの文化で見られるものです。祖先崇拜は以下のようなものを含む場合があります。

- 祖先の霊には力があり、贈り物や供物、犠牲を捧げて崇拜すれば、現在生きている親族、未来に生まれる子孫に影響を与え、幸運をもたらすと信じること
- 祖先の霊が、生者と創造主との仲介者であると信じること
- 祖先が崇拜されないことによって、悪い結果が生じると信じること
- 死者の霊をなだめることができない場合、人々に不幸をもたらすかもしれないと信じること
- 祖先へ捧げる祈り
- 死んだ親族の霊に対する人身御供
- 祖先に対する献金
- 祖先の霊には、自然界に影響を与える力があると信じておこなう、祖先の霊をなだめるための礼拝行為
- 祖先の願いを聞くために、魔術師の類に占いや意見を求めること

救世軍の立場の土台となるもの

救世軍の祖先崇拜への対応は、以下のような聖書の原則に基づいています。

1. 救世軍は、神のみが、宗教的礼拝にふさわしい、唯一の対象であると信じています。(続く)

(注 1 : 『救世軍教理ハンドブック』(2020) p.xv)

災害対策室レポート

南三陸町町長より感謝状が授与される

2020年11月5日(木)午後、宮城県南三陸町より、佐藤仁町長(写真下左)、桑原俊介震災復興企画調整監が、救世軍本営を訪問してくださいました。これは、2011年3月の東日本大震災から9年7カ月で、南三陸町における復興計画が、概ね完了することができたことの報告と感謝を救世軍に伝えるための訪問でした。

両氏は、これまでの復興の様子が掲載された写真帳を見せながら説明してください、「様々な支援を救世軍がしてくださったが、何よりも、いつでも話を聞いてくれたことが力となった」とお話しくださいました。持参された、南三陸町からの感謝状と盾(写真参照・表裏に文字が掘られている)を救世軍に授与してくださいました。米国に帰国中の司令官に代わって書記長官西村保大佐補(写真下右)が受け取りました。

町長一行が帰途に就く前には、救世軍本営内を案内し、震災当日には、ニュースや食事、携帯電話の充電などのサービスを受けるため、多くの帰宅困難者が、一階の山室軍平記念ホールで一晩を過ごされたことを伝えると、大変関心をもたれた様子で見学しておられました。

今後も南三陸町と救世軍が何らかの形でつながっているように願

いつつ、南三陸町の皆様の上に神様の守りと祝福を祈りました。



「館山屋根修復プロジェクト」続報

2019年の台風15号、19号、21号によって、千葉県館山市では大きな被害が出ました。特に多くの家で屋根が飛ばされ、度々雨漏りが起こり、泥かきや消毒の作業に至らない状況が長く続きました。そこで、救世軍は、クラッシュジャパン、キリスト教会広島災害対策室と共同で長期の耐性をもつ応急工事「館山屋根修復プロジェクト」をおこないました。その際、現地NPO法人安房文化遺産フォーラムによって家屋の選定がなされました。

2020年10月、NPO法人安房文化遺産フォーラムの池田恵美子氏の協力をいただき、1年後の経過を視察しました。池田氏は当時を振り返り、昨年の台風の被害は広範囲であったため、社会福祉協議会も対応の手が回らない状態であった中、池田氏が日頃から「かいた婦人の村」をはじめ地域の教会や病院、教育委員会、社会福祉協議会とのネットワークをもっていたので、キリスト教会からの支援の受け皿として協力をすることができた、と語ってくださいました。館山市では、工事業者の対応件数能力と被災によるニーズの乖離が大きく、1年を経ても工事を待っている家がある状態だということでした。支援した家屋の居住者は社会的支援の必要な方もあり、地域の支援を得ながら生活されている方の支援を「館山屋根修復プロジェクト」が担ったことが推察できました。

視察した10月には、プロジェクトを経て、本格的な工事が夏に終了した家屋(写真下2枚)、すでに解体された家屋もあり、コロナ禍での経済的打撃が大きい中にも少しずつ日常を回復していました。



キャンペーンのアルバム

伝道事業部長 山谷真少佐 2020年11月8日、15、16日
士官学校 2020年11月14、15日



写真位置

- ①
- ②③
- ④

- ① 静清小隊
(伝道事業部長 11月8日〈日〉)
- ②③ 名古屋小隊
(伝道事業部長 11月15日〈日〉)
- ④ 士官学校 仙台キャンペーン
(11月15日〈日〉)



『救世軍教理ハンドブック』刊行



2010年に救世軍万国本堂から発行された、『救世軍教理ハンドブック』の日本語版が、ついに発刊されます！
(2020年末)
ぜひお求めください！

A 5判 386頁 定価2,500円+税250円
御注文は、救世軍出版供給部へ
(商品の発送は2021年1月12日以降となります)

日曜学校教師奨励サンデー 2月14日

子どもたちの信仰のため働く先生を覚えて祈りましょう

2020年感謝祭募金結果 12,126,402円

2020年秋におこなわれた感謝祭の募金活動に御協力いただきありがとうございます。日本国内の救世軍の活動を支える尊い御支援を心から感謝いたします。(2020年12月10日現在)

(取扱支部)

発行日及び定価

▼発行日

福音版・毎月一日発行

広報版・奇数月十五日発行(除七月)

▼定価

福音版・一部 四〇〇円

広報版・一部 一〇〇円

クリスマス特集号(十二月一日号)

一部 一〇〇円

振替・〇〇一八〇五四〇〇

発行兼 救世軍

印刷人 代表者ケネス・メイナ

編集人 寺澤 真由子

〒101-0051 東京都千代田区

神田神保町二ノ十七

電話 東京(03)三三七七〇八八一

発行所 救世軍本堂

印刷所 株式会社ビーアンドエス

創立者 ウィリアム・ブリス 大将 ブライアン・ペドル(万国本堂 英国ロンドン) 日本司令官 ケネス・メイナ(救世軍本堂 東京都千代田区)

https://www.salvationarmy.or.jp